



## さようなら原発9.23全国集会に参加！ 人類と原発は共存できない！ ともに声をあげよう！脱原発！

「『さようなら原発』1000万署名市民の会」は9月23日、代々木公園にて「さようなら原発9.23全国集会」を4,500名の参加者のもと開催しました。

東京電力福島第一原発事故から14年が経ちました。未だに多くの方が避難生活を強いられている現実の中で、政府や電力会社は温暖化等による気候危機の解決策として原発回帰を企てています。福島第一原発の惨状を見るまでもなく、原発は「安全」でも「クリーン」でもありません。

今回の「さようなら原発9.23全国集会」では、気候危機を理由にした「原発回帰」を許さないため、「ともに声をあげよう！脱原発と気候正義のために」をスローガンに掲げて開催されました。

集会の中で哲学者の高橋哲哉・東京大名誉教授は「福島を自然を深く傷つけたのに、原発に立ち戻る政府を許すことができない。脱原発と気候危機を食い止めるために力を合わせよう」と訴えました。

JR東海労は、今集会にJRひがし労の仲間と共に参加し、脱原発に向けた闘いを更に進めるためにデモ行進を行い、人類と原発は共存できないこと、いのちと生活を破壊する原発は必要ないことを訴えてきました。

